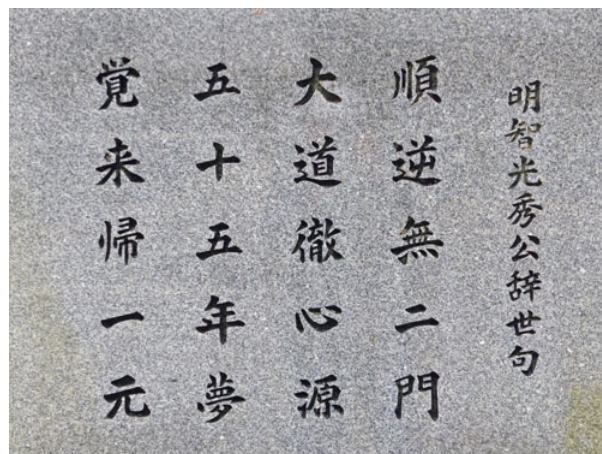
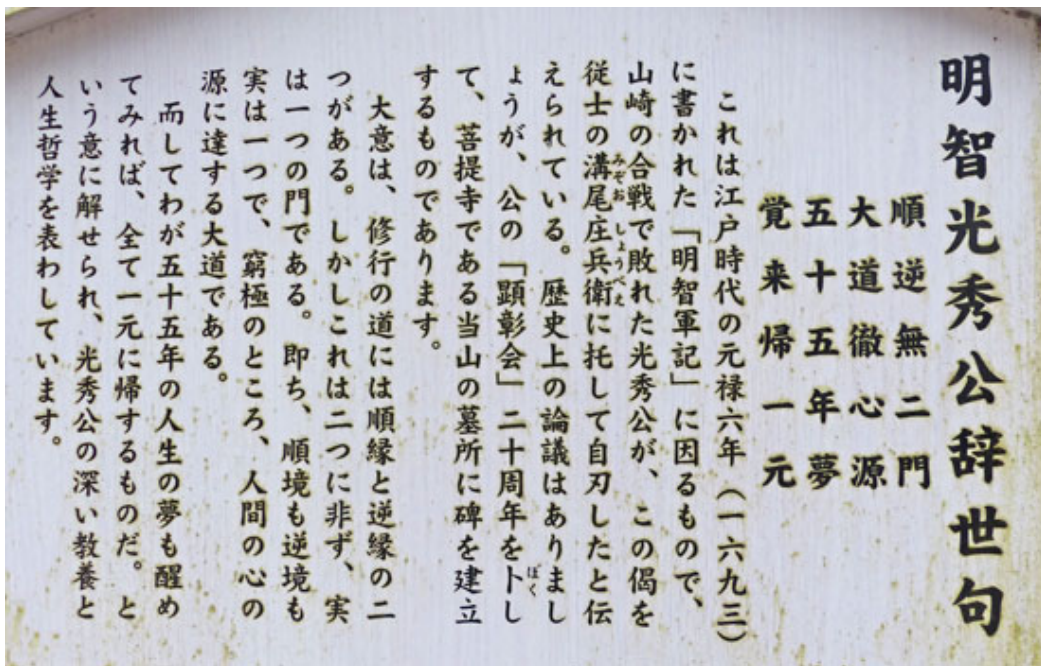


西教寺は、明智光秀の菩提寺、一族のお墓がある。  
 明智光秀の辞世の句などもある。明智光秀、55歳。織田信長、50歳。  
 本能寺の変、どんな展開になるのか、ドラマが、楽しみ。



坂本城主明智日向守光秀とその一族の墓

織田信長が元龜二年（一五七二）九月、坂本、比叡山を中心にして近江の國の寺院を始め大半を焼き討ちした。西教寺も金山類焼の厄に遭つた。すなわち元龜の平亂である。その後、再興に尽力したのは信長の將、明智光秀で、浜坂本に坂本城を築城、坂本城主として坂本一帯の復興に当たり、西教寺の大木坊（庫裡）を造築、刻名入りの棟木も現存している。また天正二年（一五七四）坂本堂を完成し、現在の木尊（重文）丈六の阿彌陀如來を迎えている。

それ以来、光秀との由縁はふかく、元龜四年（一五七三）二月、光秀が堅田城に拠つた本願寺光佐を討つた時、戦死者十八名の菩提のため、武者、中間のへだてなく供養米を寄進したと言われている。また早逝した内室（烈子）の供養もされ、墓が安置されている。

天正十年（一五八二）本能寺の変のあと、山崎の合戦に破れて非業の最後をとげた時、光秀一族とともに当寺に葬られたと言われている。のちに坂本城の城門の一つも当寺に移されたと伝えられている。

爾來、当寺としては光秀の菩提為毎年六月十四日に光秀忌を営んでいる。この供養塔は左のように記されている。

以 秀 岳 宗 光 大 禅 定 門  
 以 南 無 阿 彌 陀 佛  
 天 正 十 年 六 月 十 三 日

西教寺は、広い。今回も、多くの画像記録を、心が命ずるままに・・・  
 人それぞれ、表現もいろいろ。  
 いい時間をもたせてもらった。訪ねて、良かった。

